



# 神奈川県議会議員 石川たくみ活動報告

# かけはし

## 三浦縦貫道、高円坊へのオンランプ開通

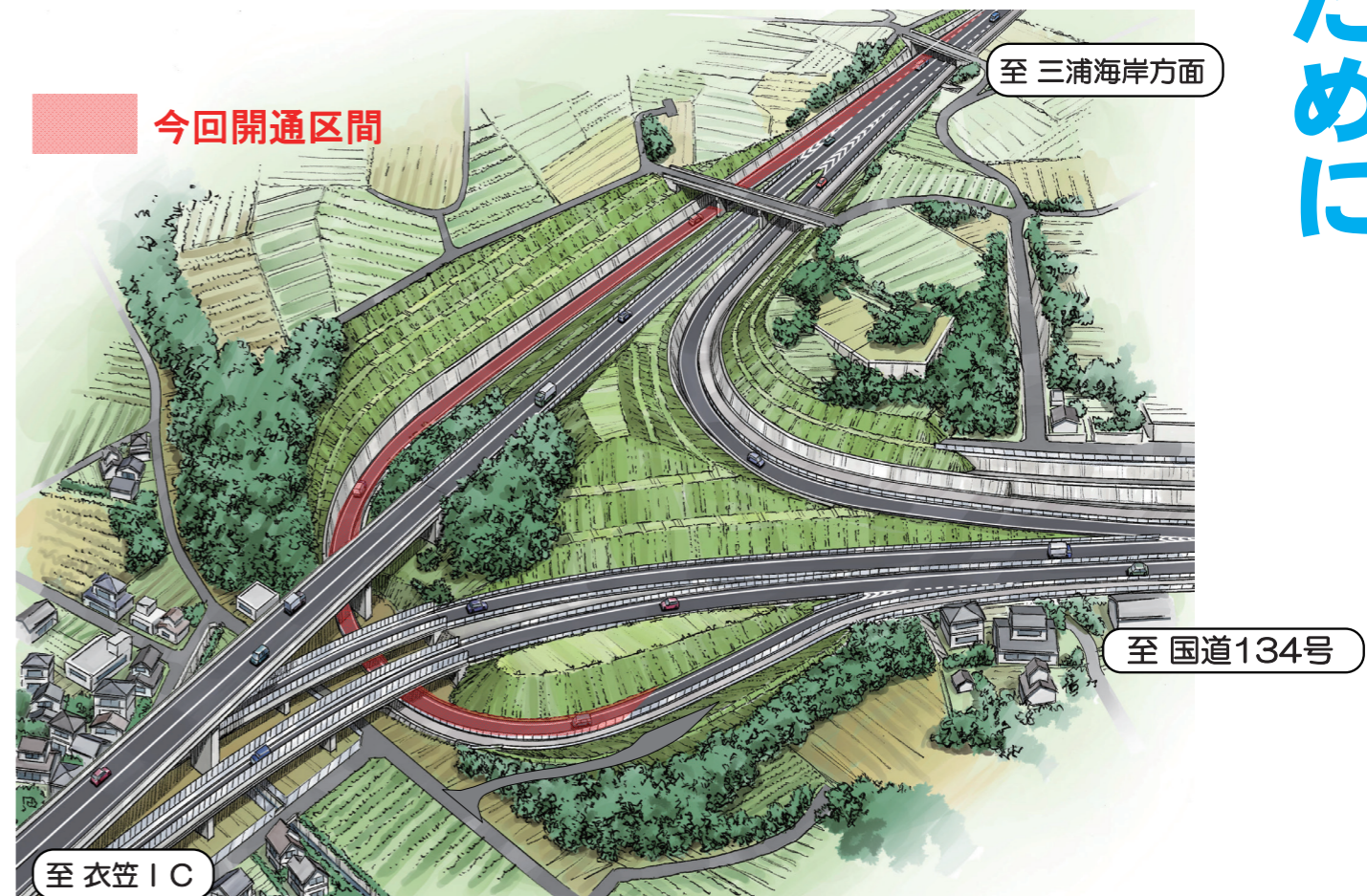
林から三浦海岸方面へのアクセス向上

神奈川県が整備を進めてきた三浦縦貫道路Ⅱ期北側区間「林インターチェンジ(下り口)」が完成し、3月30日に全線開通しました。これにより国道134号の三浦縦貫道路林入口交差点から高円坊・三浦海岸方面への通行が可能になり、利便性が大幅に向上します。道路は令和2年8月に約1.9km延伸し、南側は三浦市道14号の三浦縦貫高円坊入口交差点に接続しました。

県のまとめによりますと、三浦から横須賀までの移動時間が短縮、初声小学校入口交差点から横浜横須賀道路衣笠インターチェンジまでの平均旅行速度が約30km/h向上し、移動時間が最大約20分短縮されました。消防関係者からは「開通区間を利用することで搬送時間が短くなったことを実感しています」との声がありました。三浦縦貫道の利用増加で交通量が増えた周辺道路の安全対策として、初声小学校前の横断歩道手前道路に滑り止めカラー舗装を実施し、さらに路肩部に減速を促すためのポールを設置することになりました。また初声中学校付近の交差点では神奈川県警が横断歩道の設置を進めています。



すべては三浦のために



とによって、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるものです。

三浦市では、「海業」推進を図るため、市・神奈川県及び民間企業・団体が出資して平成三年に設立したのが(株)三浦海業公社であり、公社の中核的

事業が三崎フィッシャリーナ・ウォーフ事業「うらり」です。二町谷地区等漁港エリアにおいて新たなプロジェクトも動き出しており、県議会としても海業発祥の地のさらなる取り組みを後押ししてまいります。



## 「農水産部」に名称変更へ！

より一層の水産振興の取り組みへ

県の組織改編で、令和四年度より「農政部」から、水産を加えた「農水産部」に変更しました。特定第三種漁港のある全国自治体の中で、水産部がないのは神奈川県だけでした。私は、県議当選以来、水産部の設置を含め県の積極的な水産業振興を求め続けてきました。

昨年度改訂されました「かながわ水産業活性化指針」に、大規模外洋養殖事業の誘致や漁船等の設備投資への支援、スマート化の推進等を位置づけて、

漁業所得の向上に重点的に取り組むこととし、国や民間企業、漁業協同組合と連携して、戦略的に施策を展開していきます。水産庁との人事交流も調整しており、農水産部への名称とともに、水産振興に意気込む県の決意の表れです。

引き続き、全国に13しかない特三漁港、県営三崎漁港のある三浦市選出の県議会議員として、より一層の水産行政強化に尽力してまいります。

## ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議

ウクライナ国民との連帯と世界平和への思いを込めて

3月7日、県議会は全会一致で『ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議』を可決しました。武力の行使により独立国家の主権を侵害し、市民の生命・財産・自由を奪う行為は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、国際連合憲章に反する行為であり、到底容認できるものではなく、強く抗議したものです。

ウクライナのオデッサ州と神奈川県とは、1986年の友好交流の発展に関する共同声明の調印以降、友好関係を継続してきました。神奈川県は、「ウクライナ避難民支援等対策会議」を立ち上げました。ウ

クライナ避難民支援相談窓口を設置し、避難民の受入先として県営住宅100戸、神奈川県住宅供給公社21戸を確保し、さらに企業からも住宅提供情報にご協力頂きます。



## ウクライナ情勢に係る経済対策

### 特別融資の新設

ロシア・ウクライナ情勢等による原油・原材料高騰や必要な物資の供給制限の影響を受けた県内中小企業等を対象に、「原油・原材料高騰等対策特別融資」を新設し、申込の受付を開始いたします。

### 特別相談窓口の設置

ウクライナ情勢や原油価格高騰などにより影響を受けた中小企業・小規模事業者に対する支援として、金融課及び公益財団法人神奈川県産業振興センターに、「ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口」を設置して相談を受け付けています。

ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口 神奈川県産業労働局金融課金融相談窓口：045-210-5695

